

事業所

資料4-③

| 問番 | 設問 | 選択肢 | 備考 |
|----|--|--|----|
| | <p>はじめに、貴事業所の概要についてお答えください。</p> <p>法人名 事業所名 記入者氏名 役職 電話番号 開設年</p> <p>組織形態（あてはまる一つに○）</p> | <p>法人名（ ） 事業所名（ ） 記入者氏名（ ） 役職（ ） 電話番号（ ） 開設年（ ）</p> <p>1 社会福祉法人 2 医療法人 3 NPO法人 4 株式会社 5 有限会社 6 その他（ ）</p> | |
| 1 | <p>貴事業所の障がい福祉サービス提供状況と、今後の計画について教えてください。</p> <p>1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 同行支援 4 行動支援 5 重度障害者等包括支援 6 生活介護 7 自立訓練（機能訓練） 8 自立訓練（生活訓練） 9 宿泊型自立訓練 10 就労移行支援 11 就労継続支援（A型） 12 就労継続支援（B型） 13 就労定着支援 14 療養介護 15 短期入所 16 自立生活援助 17 共同生活援助 18 施設入所支援 19 計画相談支援 20 地域移行支援 21 地域定着支援 22 移動支援 23 地域活動支援センター 24 訪問入浴サービス 25 日中一時支援 26 児童発達支援 27 医療型児童発達支援 28 放課後等デイサービス 29 居宅訪問型児童発達支援 30 障害児相談支援</p> | <p>現在の提供状況 定員数（ ）人 利用者数（ ）人 長岡京市の利用者（ ）人</p> <p>今後の増員・新規参入予定 予定定員（ ）人 予定時期（年度）</p> | |
| 2 | <p>具体的な時期や規模は未定だが、令和11年度までに参入を検討していきたいと考えている障がい福祉サービスがあれば教えてください。（○はいくつでも）</p> | <p>1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 同行支援 4 行動支援 5 重度障害者等包括支援 6 生活介護 7 自立訓練（機能訓練） 8 自立訓練（生活訓練） 9 宿泊型自立訓練 10 就労移行支援 11 就労継続支援（A型） 12 就労継続支援（B型） 13 就労定着支援 14 就労選択支援 15 療養介護 16 短期入所 17 自立生活援助 18 共同生活援助 19 施設入所支援 20 計画相談支援 21 地域移行支援 22 地域定着支援 23 移動支援 24 地域活動支援センター 25 訪問入浴サービス 26 日中一時支援 27 児童発達支援 28 放課後等デイサービス 29 保育所等訪問支援 30 居宅訪問型児童発達支援 31 障害児相談支援 32 その他（ ）</p> | |
| 3 | <p>貴事業所では、利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）できなかったことがありますか。（1つに○）</p> <p>1 ある ⇒問4へ 2 ない ⇒問5へ</p> | <p>1 ある 2 ない</p> | |

| 問番 | 設問 | 選択肢 | 備考 |
|----|--|--|----|
| 4 | <p>受け入れできなかったサービスは何ですか。また、その理由は何ですか。※サービスの種類は問2の選択肢よりお選び下さい。</p> <p>受け入れ（サービス提供）できなかった理由</p> <p>1 希望される時間帯(または時期)に利用が集中し、依頼時には定員に達していた</p> <p>2 希望される時間帯に、事業所としてサービス提供していなかった(夜間、休祝日など)</p> <p>3 事業所では対応できない困難ケースだった(障がい種別、障がい程度などによる)</p> <p>4 新規契約者を受け入れる余裕がなかった(職員体制など)</p> <p>5 その他 ⇒回答欄にその他の理由をご記入ください</p> | <p>サービスの種類(各欄1つだけ) ()</p> <p>受け入れ出来なかった理由(各欄2つまで) ()</p> <p>その他の理由があればご記入ください ()</p> | |
| 5 | <p>利用者からは、どのような障がい福祉サービスを望む声が多いですか。該当するサービスについて、「選択肢欄」よりお選びいただき、「記入欄」にご記入ください。</p> | <p>1 居宅介護</p> <p>2 重度訪問介護</p> <p>3 同行援護</p> <p>4 行動援護</p> <p>5 重度障害者等包括支援</p> <p>6 生活介護</p> <p>7 自立訓練(機能訓練)</p> <p>8 自立訓練(生活訓練)</p> <p>9 宿泊型自立訓練</p> <p>10 就労移行支援</p> <p>11 就労継続支援(A型)</p> <p>12 就労継続支援(B型)</p> <p>13 就労定着支援</p> <p>14 就労選択支援</p> <p>15 療養介護</p> <p>16 短期入所</p> <p>17 自立生活援助</p> <p>18 共同生活援助</p> <p>19 施設入所支援</p> <p>20 計画相談支援</p> <p>21 地域移行支援</p> <p>22 地域定着支援</p> <p>23 移動支援</p> <p>24 地域活動支援センター</p> <p>25 訪問入浴サービス</p> <p>26 日中一時支援</p> <p>27 児童発達支援</p> <p>28 放課後等デイサービス</p> <p>29 保育所等訪問支援</p> <p>30 居宅訪問型児童発達支援</p> <p>31 障害児相談支援</p> <p>32 その他 ()</p> | |
| 6 | <p>利用者から望む声が多いが、不足していると感じられる障がい福祉サービスはありますか。また、それらのサービスについて、定員増員や新規参入が進まない理由は何だと思われますか。※サービスの種類は問5の「選択肢欄」、理由は「受け入れ(サービス提供)できなかった理由」よりお選び下さい。</p> <p>1 利用需要の見込みが立てづらい</p> <p>2 利用者の継続的な確保が困難</p> <p>3 サービス提供場所(土地や建物)の確保が困難</p> <p>4 職員の確保が困難</p> <p>5 報酬単価が低く採算性に不安がある</p> <p>6 わからない</p> <p>7 その他 ⇒回答欄にその他の理由をご記入ください</p> | <p>不足しているサービス(各欄1つだけ) ()</p> <p>定員増等が進まない理由(各欄2つまで) ()</p> <p>その他の理由があればご記入ください ()</p> | |

| 問番 | 設問 | 選択肢 | 備考 |
|----|---|--|------------------------------------|
| 7 | 円滑な事業運営を進める上で、改善したい（してもらいたい）経営上の課題はありますか。貴事業所が提供するサービスを「選択肢欄」より選択のうえ、それぞれのサービスの課題を「経営上の課題」から3つまで選び、「記入欄」にご記入ください。 | <p>提供するサービス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 居宅介護 2 重度訪問介護 3 同行援護 4 行動援護 5 重度障害者等包括支援 6 生活介護 7 自立訓練（機能訓練） 8 自立訓練（生活訓練） 9 宿泊型自立訓練 10 就労移行支援 11 就労継続支援（A型） 12 就労継続支援（B型） 13 就労定着支援 14 療養介護 15 短期入所 16 自立生活援助 17 共同生活援助 18 施設入所支援 19 計画相談支援 20 地域移行支援 21 地域定着支援 22 移動支援 23 地域活動支援センター 24 訪問入浴サービス 25 日中一時支援 26 児童発達支援 27 放課後等デイサービス 28 保育所等訪問支援 29 居宅訪問型児童発達支援 30 障害児相談支援 31 その他（ ） <p>経営上の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特に経営上の課題を感じない 2 事業計画（経営計画）通りに見通しをもって運営できている 3 利用者の確保 4 職員の確保 5 職員の資質向上 6 施設・設備の改善 7 事務作業量の軽減化、効率化 8 必要な情報の入手 9 市町村等との連携 10 市民、近隣住民の理解 11 利用者や家族の制度に対する理解 12 報酬単価 13 その他（ ） <p>提供しているサービス（各欄1つだけ）（ ） 経営上の課題（各欄3つまで）（ ） その他の理由があればご記入ください（ ）</p> | |
| 8 | 提供するサービスの質の向上に向けた課題は何ですか。（あてはまるすべてに○） | <ol style="list-style-type: none"> 1 特にない 2 職員応募者が少ない 3 職員の離職率が高い 4 職員の資質向上 5 事業所内設備の改善 6 事務作業が多い 7 利用者のニーズの把握 8 専門性の高いニーズへの対応 9 利用者や制度に関する情報の入手 10 採算性の確保 11 住民の障がいに対する理解促進 12 サービス提供に対する客観的評価 13 その他（ ） | |
| 9 | 医療的ケアが必要な方や重度心身障がい児（者）、強度行動障がいのある方に対して、サービスを提供していますか。（あてはまるすべてに○） | <ol style="list-style-type: none"> 1 医療的ケアが必要な方にサービスを提供している 2 重度心身障がい児（者）にサービスを提供している 3 強度行動障がいのある方にサービスを提供している 4 サービスを提供していない | 医療的ケア、重度心身障がい、強度行動障がいのある人への対応状況の把握 |
| 10 | 医療的ケアが必要な方や重度心身障がい児（者）、強度行動障がいのある方に対して、どのような配慮をしていますか。（あてはまるものすべてに○） | <ol style="list-style-type: none"> 1 緊急時に看護師をバックアップする体制 2 定期的なバイタルチェック 3 医療機関等との連携 4 看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施 5 特性に合わせた物理的な環境の整備 6 わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援 7 家族への情報提供や相談支援 8 その他（ ） | 医療的ケア、重度心身障がい、強度行動障がいのある人への対応状況の把握 |
| 11 | 医療的ケアが必要な方や重度心身障がい児（者）、強度行動障がいのある方に障がい福祉サービスを提供するために必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○） | <ol style="list-style-type: none"> 1 専門知識・介助技術の習得 2 対応できる新規スタッフの雇い入れ 3 対応に必要な機器の購入 4 対応に必要なスペースの確保・増設 5 新規雇い入れや機器を導入するための資金 6 他利用者との兼ね合い 7 関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保 8 その他（ ） | 医療的ケア、重度心身障がい、強度行動障がいのある人への対応状況の把握 |

| 問番 | 設問 | 選択肢 | 備考 |
|----|---|---|-------------------|
| 12 | 提供するサービスの質の向上に向けて、貴事業所が取り組んでいることはありますか。 | 取り組みの名称（ ） 具体的な取り組み内容（ ） | |
| 13 | これまでに、障がい福祉サービス等の利用者からどのようなことに関する苦情がありましたか。（あてはまるすべてに○） | 1 施設や設備について 2 食事について 3 入浴について 4 排泄について 5 職員等の言葉遣いなど、態度について 6 金銭管理について 7 施設内での事故について 8 利用契約について 9 利用料金について 10 利用時間について 11 その他（ ） | |
| 14 | 苦情があった際に、貴事業所はどのように対応しましたか。（あてはまるすべてに○） | 1 利用者やその家族に対して謝罪した 2 制度等について説明を行った 3 施設や設備等の改修を行った 4 代替サービスを提供した 5 料金の返金など、金銭的な補償を行った 6 利用時間の変更を行った 7 職員会議を開催し、ケース検証を行った 8 苦情に関する専門職を設置した 9 第三者による検証を行った 10 職員間で情報・事例共有を行った 11 対応マニュアルを作成・更新した 12 職員研修を実施した 13 その他（ ） 14 特に何もしていない | |
| 15 | 貴事業所では、人材を確保するために、どのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるすべてに○） | 1 人材募集の専門の折込チラシに掲載した 2 インターネットの求人サイトを利用した 3 口コミで探している 4 ハローワークなどを通じて募集した 5 インターネットに広告を掲載した 6 福祉専門学校等で求人を行った 7 ボランティアを受け入れた 8 賃金の改善を行った 9 福利厚生を充実した 10 資格取得の支援を行った 11 柔軟な勤務形態（短時間就労など）を導入した 12 実習生や研修生を受入れた 13 その他（ ） | 人材確保に向けた取組の把握 |
| 16 | 事業所では虐待防止対策についてどのような取組をしていますか。（あてはまるすべてに○） | 1 虐待防止責任者の設置 2 虐待防止委員会の設置 3 虐待防止に係る研修への参加 4 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催 5 虐待防止マニュアルの作成 6 虐待防止連絡体制の整備 7 職員のメンタルヘルスのための研修を実施 8 職員にストレスチェックを実施 9 その他（ ） 10 特に取り組んでいない | 虐待防止に関する取組の把握 |
| 17 | 貴事業所では災害時の対策についてどのような取組をしていますか。 | 1 災害発生時対応マニュアルの作成 2 定期的に避難訓練を実施 3 備蓄品の整備 4 建物の耐震化 5 ロッカー、棚などの転倒防止措置 6 緊急連絡網の作成 7 避難経路の確保 8 避難行動計画の策定 9 その他（ ） 10 特に取り組んでいない | 災害時の取組の把握 |
| 18 | 事業所では、地域との連携を図るために、どのようなことをしていますか。 | 1 町会・自治会等に参加している 2 町会・自治会等の総会に参加している 3 地域のイベントやお祭りに参加している 4 ボランティアを導入している 5 事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している 6 事業所のお祭りやイベントに地域の方を招待している 7 地域の町会・自治会等と防災協定を締結している 8 その他（ ） 9 特になし | 地域との連携状況の把握 |
| 19 | 入所者の地域生活への移行を進める上での課題とすることは何ですか。（あてはまるすべてに○） | 1 利用者本人のニーズ把握 2 重症心身障害者の増加 3 利用者家族の高齢化 4 地域移行支援の認知度 5 移行後の利用者の収入確保 6 移行後の住まいの確保 7 福祉サービス事業者への引継ぎ 8 医療機関との連携 9 相談支援機関との連携 10 移行先の地方自治体との連携 11 地域における障害への理解促進 12 その他（ ） | 地域移行を進めるあたる課題等の把握 |

| 問番 | 設問 | 選択肢 | 備考 |
|----|--|---|-----------------|
| 20 | これまでに、障がい福祉サービス等の利用者から、合理的配慮の提供についての申し出等ありましたか。（あてはまる一つに○） | 1 利用者本人から申出があった 2 家族や支援者から申出があった 3 職員の判断で配慮を行った 4 特に申出や対応経験はない | 合理的配慮の提供、取組等の把握 |
| 21 | 障がい福祉サービス等の利用者に対して、いままでのどのような合理的配慮の提供を行いましたか。（あてはまるすべてに○） | 1 コミュニケーション支援（筆談、視覚資料など） （具体的内容： ） 2 環境調整（段差解消、照明調整など） （具体的内容： ） 3 支援方法の変更（個別対応、時間配分の調整など） （具体的内容： ） 3 その他（ ） 4 提供したことはない | 合理的配慮の提供、取組等の把握 |
| 22 | 障がい福祉サービス等の利用者への合理的配慮の提供において、課題とすることは何ですか。（あてはまるすべてに○） | 1 障がい福祉サービス等の利用者からの申出の内容が曖昧で対応に迷うことがある 2 職員の理解や対応力にばらつきがある 3 他の利用者との調整が難しい 4 過重な負担になる可能性がある 5 その他（ ） 6 特に課題は感じていない | 合理的配慮の提供、取組等の把握 |
| 23 | 本市では、令和6年4月から障害福祉サービスの地域区分が6級地から5級地に変更になりました。この地域区分の変更に伴う報酬改定の報酬増額により事業運営への影響はありますか。（あてはまるすべてに○） | 1 長岡京市外のため影響なし 2 人員の増員が可能になった 3 職員の処遇改善（給与・待遇の向上）を実施できた 4 サービスの質の向上につながった 5 事業の安定運営が可能になった 6 新たな設備・備品の導入ができた 7 利用者への支援内容の拡充ができた 8 研修や人材育成の機会を増やすことができた 9 他事業との連携や地域活動への参加が進んだ 10 新たな事業展開や取り組みを始める余裕ができた 11 その他（ ） 12 現時点では大きな影響はない | 地域区分の変更による影響の把握 |
| 24 | 現在、貴事業所が提供している障がい福祉サービスについて、現状や課題、今後の方向性、事業充実のために必要とすることについて、ご意見をお聞かせください。 | | |
| 25 | 相談体制やサービスの情報提供について、不足していることや今後取り組むべきことについてお聞かせください。 | | |
| 26 | 長岡京市の計画策定にあたり、その他、ご意見がありましたらご記入ください。 | | |